



病院の薬と市販薬は

どっちがお得？（水虫の薬）

市販薬まつ盛り

「水虫は自宅で治せる」「病院の薬と同じ成分」「マーシャルや広告で、よく見かける水虫の薬のキャッチフレーズです。二十年来、効き目の強い水虫の薬がどんどん市販されるようになり、大変よろしいことと思います。しかし、薬局の薬を塗ってもよくならず、結局、病院に来られたという方もおられます。水虫は病院で治療した方がよいのか、薬局で治療をした方がよいのか。どちらが望ましいのでしょうか。

水虫のようで違う病気

「水虫の薬をください」と言われ、病院に来られる方の五人に一人は水虫ではありません。一見、水虫のように見えても水虫でない病気がいくつもあります。「汗疱」「掌蹠膿疱

症」などがそうです。水虫かどうかはどんな名医でも肉眼では分かりません。顕微鏡による検査をすればハッキリします。

痒いから水虫？

「痒いから水虫なのは」「痒くないから水虫ではないはずだ」

患者様は、痒みがあるかなにかによって、水虫かどうかを診断されているようです。

水虫で痒くなるのは十人中五人です。痒いから水虫だと断言することはできませんし、痒くないからといって水虫ではないとも言いきれません。

ジクジク水虫に要注意

ジクジクした水虫にいきなり水虫の薬を塗ると、かえって悪化することがあります。特に、液体の薬は、水虫の引っこ掻き傷にしてみてもひどくなる

ことがあります。まず、ジクジクの皮膚炎を治して、水虫の薬を塗るときれいに治ります。

五十人に一人カブれる

病院の薬も、市販薬も、どんな良い薬も、五十人に一人はカブれることがあります。塗り始めて一〜二週間して、赤く痒くなってきた場合、カブれを起こしている可能性があります。病院でご相談ください。

爪水虫には飲み薬を

爪が白く濁っている場合、爪に水虫菌が入っていることがあります。その場合、塗り薬のみで治すことは難しく、飲み薬が必要になってきます。副作用に気を付けながら、四〜六ヶ月間、内服することをお勧めします。水虫の飲み薬は薬局には市販されていません。

気になるお値段は？

「病院の薬と同じ成分」とい

うキャッチフレーズで販売されている市販薬は、一本約二千円です。二週間で一本使うとすると、治るまで三ヶ月六本必要になり、合計約一万二千円かかります。

一方、病院では、初診時、水虫かどうかの検査をして、水虫の薬をもらったとすると、約千八百円です。その後、二回通院して、計六本の薬を使ったとすると、医療費の合計は約四千五百円です。薬局でかかるお金の、二六分の一から、三分の一です。これは医療費が三割負担の方の場合であり、七十歳以上の一割負担の方は約千五百円です。

どっちがお得？

安全性、経済性からみると、水虫は病院で治療するのが得といえそうです。

病院治療の短所は待ち時間が長いということです。当院でも大変ご迷惑をおかけしており、お詫び申し上げます。病院か市販薬か、どちらも

長所短所がありますので、それを踏まえて選ばれたらよろしいかと思えます。